

(第3種郵便物認可)

介護業界盛り上げよう 若手経営者が呼びかけ

事業者一
事ミナ
介セ

「優れた人材の採用と定着率アップの成功術」をテーマに若手経営者らを講師に迎えたセミナー(写真)が13日、都内で開催された。離職率の高止まりや人材確保など厳しい状況にある介護業界だが、若者へのアピール方法や人材定着策など、これまでにない切り口で活性化を訴えた。

「ホームヘルプ」編集部。現場の経営者・スタッフからの悩みや相談を受けて「何か出来ることはないか」と考え続けて来ていたという。業界の盛り上がりという。業界の仕事って『かっこいい』と思わせなければいけない」と若者への仕事

運営ながら年間250人の採用応募があるというはっぴーライフの辻川泰史社長は、「若い人を業界に呼び込むには『見た目』も大事。介護の仕事って『かっこいい』と思わせなければいけない」と若者への仕事



景や理念を語る動画など充実したホームページや社長、スタッフの日々のブログで介護の仕事の魅力を伝えることで、サイトを見ての自発的な応募がほとんどになっているという。

たのは、人材定着率95%を達成している訪問介護クオレの加納久美子社長。人材募集広告ではなく、無料のヘルパーのスキルアップ講座を開催し、受講者の中から希望者に採用案内をしていく方式。「参加するのは意識の高い人ばかり。講座の中で面接では見られない人柄まで見ることが出来る」。人材確保難だが、質の高い人を選んで採るようにするのが結果的に人が定着し、集まる職場づくりの「王道」と強調した。

真剣に他の業界から優秀な人材を奪ってくるような取り組みをしてきたのか」介護業界の人材確保への取り組みに甘さがあったのではと疑問を呈したのは藤田英明フジタ・エージェンシー取締役。デイのランチタイムに「茶話本舗」を全国100店舗超にまで広げ、他産業からの加盟も多い。同社では、年収1千万を目標せる仕組みづくりを行い、他産業と資金面でも勝負出来る体制を整えていると介護事業者の意識変革を訴えた。

「介護業界はこれまで、